

第 14 号 香川県立農業大学校  
 〒766-0004  
 仲多度郡琴平町榎井 34-3  
 TEL 0877-75-1141 FAX 0877-75-3989  
 E-mail : nodai@mx8.tiki.ne.jp



# 農大だより

URL <http://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>

- 校長あいさつ
- 先進地視察研修報告
- 中四プロジェクト発表会
- 校内卒論発表会
- 活躍する卒業生
- 技術研修科だより
- 輝く修了生
- 学生募集
- 教職員名簿



## 農業をめざす若者へ

校長 西山芳邦

今年もフレッシュな学生や  
 研修生を迎え、新しい年度が  
 始まりました。

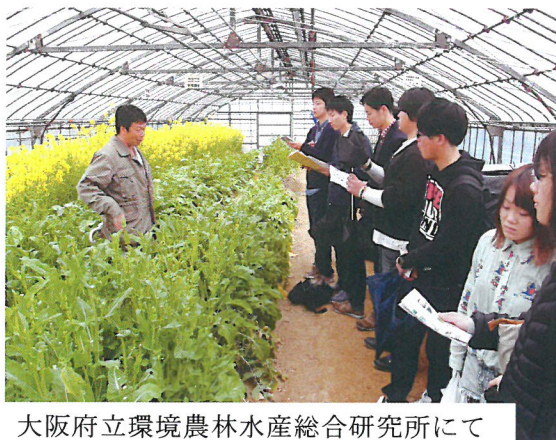
本校は、次代の農業を担う  
 人材養成を目的として設置さ  
 れた大学校であり、講義だけ  
 でなく、一年次には農場での  
 実習、二年次には試験研究機  
 関や先進農家で学ぶ機会も数  
 多く取り入れるなど実践教育  
 を基本としています。

本県にはうどん県を支える  
 「さぬきの夢」をはじめ、「お  
 いでまい」、さぬき讚フルーツ  
 の「さぬきひめ」や「さぬき  
 ゴールド」など、特徴ある香  
 川県育成品種も多く、コース  
 によっては、これらの栽培技  
 術にも取り組みやすいほか、  
 畜産や造園関係での研修もあ  
 ります。

農業・畜産・造園に関心の  
 ある若者で、就農や技術向上  
 を考えている方は、七月から  
 オープンキャンパスも始まり  
 ますので、是非参加して、自  
 分の可能性を試してください。

## 先進地視察研修報告

野菜園芸コース



野菜園芸コースは大阪府の  
 黒門市場、大阪中央卸売市場、  
 大阪府立環境農林水産総合研  
 究所、大阪ステーションシテ  
 イ天空の農園を視察研修しま  
 した。

黒門市場では多数の店舗で  
 入り口付近にイチゴを陳列し  
 ており、様々な産地、品種の  
 イチゴを見ることができまし  
 た。

大阪中央卸売市場ではイチ  
 ゴのせりを中心に市場の見学

を行い、市場担当者から香川県  
の主要品目レタス、ブロッ  
コリーの取り扱い状況につい  
ても話を聞きました。

大阪府立環境農林水産総合  
研究所では「なにわの伝統野  
菜」の復活への取り組みにつ  
いて研修しました。研究所で  
は古くから農家が自家採種で  
保存してきた伝統野菜の形質  
を安定させるために、形質を  
調査しながら選抜を行って  
おり、「田辺大根」などの採種を  
行っている様子を興味深く見  
学しました。研究所内に農業  
大学校があることから学生の  
プロジェクト活動と一体的に  
運営されていきました。

大阪ステーションシティの  
屋上にある「天空の農園」で  
は、都市の屋上緑化における  
菜園の運営について研修しま  
した。都市部の人に農業への  
関心を持つてもらえる施設で  
すが、ビルの屋上であるため  
大型農機具やビニール等を使  
用できない等、難しさも知る  
ことができました。

市場や伝統野菜、屋上緑化  
等、普段知る機会のない話を  
いろいろと聞くことができ、

勉強になったと思います。

花き園芸コース



大阪でのフラワーショップ巡り

花き園芸コース四名は、兵  
庫県の神戸布引ハーブ園及び  
神戸市立森林植物園のほか、  
大阪府の花市場で先進地研修  
を行いました。

神戸布引ハーブ園は、日本  
最大規模のハーブ園で、約二  
〇〇種、七五、〇〇〇株のハ  
ーブを用途別に植栽したり、  
傾斜地をうまく利用して階段  
状に植栽するなど工夫されて  
おり、学生達はその種類の多  
さに驚くとともに色んなハー

ブの香りを楽しんでいました。  
神戸市立森林植物園は総面  
積約一四三ヘクタールという  
広大な樹木植物園で、六甲山  
の自然を活かして日本の代表  
的な樹木や世界各地の樹木約  
一二、〇〇〇種が各々の原産  
地の森としてゾーンに分けて  
植栽されており、学生達は園  
内を巡りながら、各地の森の  
景色を楽しんでいました。

また、大阪市内での市場調  
査では、大手のフラワーショ  
ップを何店か巡る中で、学生  
達は地方と都市圏の販売価格  
の違いを実感していた様子で  
した。

大阪鶴見花き地方卸売市場  
は、国内二位の大型市場で、  
質量ともに豊富で安定供給が  
図られており、年間取扱金額  
は二六五億円で、うち約一  
三%が輸入だそうです。入荷  
物は全てバーコード管理され  
セリ落とされた品物は、自動  
的に仕分けされ、場内に設置  
されたレーンを通じて指定さ  
れた買受人の荷台に届くシス  
テムで、効率化が図られてい  
ました。また、セリ場に出向  
かなくても購入ができるよう

ネット取引システムも導入し  
ていました。

市場内での見学では、市場  
の仕組みや切り花類の取扱状  
況について担当者から説明を  
受けるとともに、その後の研  
修会では、学生からも質問す  
る形で情報交換することがで  
き、花きの消費・流通に関す  
る見聞を少しでも深めること  
ができたものと思われま

果樹園芸コース



東京の千足屋を訪問

果樹園芸コース八名は、東  
京のせとうち旬彩館、千足屋、  
銀座三越などの高級果物販売

店や大田市場等を視察して香川県産の果物がどのような評価を受け、どれくらいの価格で販売されているかを調査しました。

地域アンテナショップのせとうち旬彩館では、香川、愛媛の特産品が数多く並べられ、香川県産果物では、キウイの香緑が一個一九九円、カンキツのせとかの二Lが一個四九九円で販売されていました。

また、千疋屋総本店では、香川県善通寺市のキウイパードの糖度一六度台の香緑が、一個七三五円の高単価で販売されていました。

イトーヨーカドーや西友のスーパーでは、残念ながら香川県産果物を確認することができませんでした。

大田市場では、日本一またアジア一の規模と取扱高という点もあり、広さや品物の多さに圧倒されるばかりでした。ここでは、卸業者の東京青果の方から東京での香川県産果物の現状が聞けました。

今回の研修を通じて、香川県は面積も狭く、大規模産地に数量では太刀打ちできない

けれど、良いものを生産すれば東京の市場や高級果物店でも取り扱ってもらえる事例に触れることができ、高品質な果実を生産しようという意欲が高まりました。

造園緑化コース



東福寺「八相の庭」

京都の伝統的な日本庭園で研修を行いました。

京都御所の庭は、特別に広い敷地内に威厳のある建物とそれに見合う広々とした回遊式庭園が見事でした。また、庭園内のアカマツの手入れは全ての枝先まで手入れ（もみあげ）されており、「どれほど

の手間と経費が必要なのだろうか」と興味を持つほどでした。

東福寺「八相の庭」は、昭和を代表する作庭家の一人である重森三玲氏が鎌倉時代庭園の質実剛健な風格を基調に、現代芸術の抽象的構成を取り入れた近代禅宗庭園として有名です。市松模様（チェック柄）の斬新なデザインの苔張りの美しさに大いに刺激を受けました。

その他、雪舟の庭、天龍寺庭園、桂離宮庭園、二条城の二の丸庭園などを研修して、今後の勉強の励みになりました。

畜産コース

今年三月に二泊三日で全国的に有名なブランド牛の岐阜県高山市の飛騨牛の視察に行きました。視察は、岐阜県畜産研究所、藤瀬肉牛農場、岐阜県畜産公社の三ヶ所でした。

一日目の岐阜県畜産研究所では、昭和五九年に種雄牛として兵庫から導入した「安福」の後継牛として現在、岐阜県



岐阜県畜産研究所にて

が造成した「白清八五の三」「花清国」が活躍していました。

二日目は飛騨牛約六〇〇頭を飼育している藤瀬肉牛農場で、代表の溝端氏より、前回の鳥取全共で最優秀枝肉賞を受賞した経験に基づいて牛餌のやり方等の飼養技術を学びました。

岐阜県農畜産公社は標高一、〇〇〇mにあり、飛騨牛の繁殖と農家に牛受精卵の供給をしていました。今後、香川県のブランド牛である讃岐牛、オリーブ牛の育成に、たいへん参考になりました。

平成二六年一月二三、二四日の二日間、岡山市において中国四国ブロックプロジェクト発表会が開催されました。本校からは九名、全体で九十九名が出席し、一九課題の発表がありました。

本校の発表は二課題。木下弘之さんの『「さぬきキウイっこ」の特性調査及び経営シミュレーション』と中井慎二郎



## 中国四国ブロックプロジェクト発表会

さんの『超大粒ピオーネ作りと商品化への検討』です。大勢の前で緊張しながらも、果樹園芸コースの両名は普段の練習どおり、しっかりと発表を行いました。

また、交流会では、野菜園芸コースの藤村優一さんがスライドを用いて本校を紹介しました。

平成二六年一月一六、一七日の二日に渡って、校内卒業論文発表会を行いました。

二年生は、専攻実習の授業を通して課題を設定し、課題解決のために調査研究した結果を取りまとめ発表に臨み

ました。限られた持ち時間の中で、研究成果や問題点、生産現場での実用性などを整理して伝えようとする苦心の跡がみられました。

一年生も発表の進行役として活躍し、来年度に向けて発表の場を経験しました。

生徒も含めた出席者による

## 校内卒業論文発表会

コース	氏名	課題名
野菜園芸	石船 とし美	コマツナの有機栽培圃場における土壤中肥料成分の実態調査
	大須賀 顕大	ブロッコリーの適期定植のための早期畝立てマルチ栽培
	鎌田 将司	ブロッコリーの定植遅延が生育に及ぼす影響と早期畝立対策
	白井 有希	イチゴ観光農園で発生する格外品を用いた加工品の検討
	高橋 佑季	レタスの定植時の株間の違いが生育に及ぼす影響
	高橋 佑介	低段密植栽培による中玉トマトの秋どり作型の検討
	土居 芳絵	トマト青枯れ病抵抗性台木が草勢に及ぼす影響
	松下 和正	晩秋どり栽培におけるキャベツの優良品種選定
	村川 博子	ブロッコリーの生育ナビゲーションシステムのデータ収集と解析
	山下 侑紀	年内どりレタス栽培の効率的な防除方法の検討
吉田 和宏	アスパラガスは改植できる	
花き園芸	大西 健太	夏秋ギク「フローラル金優花」の栽植密度の検討
	栗原 彰大	キクのアザミウマ類防除における浸透移行性薬剤の効果について
	田中 希咲	灌水方法がトルコギキョウの苗立率および切花品質に及ぼす影響
	佃 七恵	ヒマワリの電照による長日処理が開花・切花品質に及ぼす影響
	西岡 拓郎	ハウス構造の違いが夏秋ギク「精の一世」の品質・開花に及ぼす影響
	松井 竜輝	カーネーションにおける遠赤色光LEDの利用及びその電照効果
	松家 輝	ラナンキュラスにおける冷蔵催芽処理方法の検討
安長 尚希	キクの栽植密度と定植位置の検討	
果樹園芸	青野 将也	「せとか」におけるパークストリッパーを用いた土壌改良作業が樹体に及ぼす影響
	池添 一輝	ブドウ「シャインマスカット」ジベレリン1回処理による果実品質への影響
	大林 直紀	「ゆら早生」の摘果時期における樹冠上部の処理方法の違いが果実品質及び樹冠拡大等に及ぼす影響
	木下 弘之	「さぬきキウイっこ」の特性調査及び経営シミュレーション
	嶋山 和生	「太秋」における袋掛け時期の違いが品質に及ぼす影響
	田中 孝典	「なつおとめ」における無袋栽培が品質に及ぼす影響
	富原 邑水	ナシの液体増量剤による人工授粉技術を利用した授粉作業効率の向上
	中井 慎二郎	超大粒ピオーネ作りと商品化への検討
造園緑化	石川 将也	瓦を中心にしたモダン庭園
	神高 友樹	技能五輪全国大会出場
	羽野 秀将	盆栽松の改作と伝説松の復元(香川松物語)
	森川 和将	野づら石積みの現代庭園作製
	森本 雅志	善通寺ガーデンコンテスト出展
畜産	中川 聖也	ニガウリのグリーンカーテン効果と牛飼料としての利用性について
	松尾 勁輔	早期離乳した黒毛和種の発育試験
	真鍋 智	トマトの給与が肥育豚に及ぼす影響(トマトんの開発を目指して)

採点の結果、優秀者は次の 5 名となりました。

- 果樹園芸 木下 弘之
- 果樹園芸 中井 慎二郎
- 野菜園芸 吉田 和宏
- 野菜園芸 山下 侑紀
- 花き園芸 松井 竜輝

### 活躍する卒業生

池内 翔さん（小豆島町）



幼い頃から田植えや野菜の栽培を手伝ってきた池内さんは、自然に関わる仕事に就きたくて農大に進学しました。農大では野菜の栽培方法だけでなく、その販売やハウス管

理なども経験し、さらに放課後のバレーボール、農家でのアルバイト等々、充実した毎日を送っていたそうです。このような生活を通して様々な人と出会い、よい社会勉強ができたとのこと。

平成二五年三月に農大を卒業し、一般財団法人オリーブ公園事業部に就職され、オリーブの栽培からオリーブ堆肥での野菜栽培等々、園内全般の管理に携わっています。暑い夏の野外作業は厳しいですが、農業や自然が大好きな性格で乗り切っています。自分で栽培したオリーブの実を初めて食べた時は何とも言えない感動を味わったとか。また、何よりも励みになるのは、来園者からの温かな言葉や感謝をつづった葉書だそうです。

たくさんの人と出会い、たくさんの経験を積み、オリーブのことならだれにも負けない技術者になれるように、また、実家の農業を継ぐことになってもオリーブを通して得た経験が生かせるように今を全力で頑張りたいとのことです。

このような先輩が農大時代を振り返って、農大生にアドバイス。「ノートにしっかりと記録して残しなさい。」「今を一所懸命にやりなさい。」とのこと。

居眠りや遅刻して、時間を無駄にしている農大生はいませんか。将来、農大時代を振り返った時、君は何を思いま

### 技術研修科だより

二六年度農業機械利用

技能者養成研修



本校では農業機械利用技能

者の養成と農作業安全の啓発を目的として農耕車限定の大型特殊免許、けん引免許の技能試験を行っています。主に大型トラクターの運転操作技能を習得する内容で、県運転免許センターの協力を得て昭和四〇年から取り組んでいます。

今年度の実施時期は四、七、一〇月の年三回の計画となっています。四月は既に終了しましたが、大特一五名、けん引一名が受験し、一三名が合格しました。七月、一〇月も農耕用大型特殊車輛の安全な使用方法の習得を目指して研修を行いたいと思います。

また、来年二月には農業機械士の研修を計画しており、農業機械の点検整備、簡易な修理方法の習得を目指した講習内容としています。

### 輝く修了生

松尾 和也さん（高瀬町）

三豊市高瀬町で新たに農業に取り組み始めた松尾和也さんを紹介します。

松尾さんは、平成二四年度



研修科野菜コースの修了生です。

三十歳になった月に、それまで勤めていた大阪の広告会社を退職し、高齢になった祖父母に代わって農業を継承しようと、農大での研修を決めました。十二年ぶりに香川へ戻ってきた当時は、不安と新たな分野への期待で一杯だったそうです。

素直で真面目な人柄の松尾さんは、研修生仲間からも慕われ、野球部で鍛えた体力で力仕事でも頼りにされています。当初は何の作物を作ろうかと思案し、理想と現実のギャップも感じながらも、一步一步着実に技術や知識を身

に付けていきました。

農大卒業後の平成二五年四月に高瀬町で就農し、現在はナス一〇アール、ブロッコリー九〇アールを栽培しています。認定就農者にも認定され、高瀬町の祖父母の農地に加え、地元の坂出市でも農地を借りています。更に経営規模を拡大し、前職で培ったマーケティング力を生かして販売にも力を入れていこうと頑張っています。

今後は雇用についても考えており、次世代に繋げる農業に取り組む松尾さんが、若い新規就農者の良き先輩として、益々活躍することを期待しています。

### 学生募集

#### オープンキャンパス

開催日は、七月五日(土)、七月二七日(日)、八月八日(金)、八月二〇日(水)の四回で、時間はいずれも九時三〇分〜一二時です。学生を対象とした「農場実習体験コース」と学生、保護者、高校教

諭を対象とした「学校施設案内コース」がありますので、事前に本校の教務課に電話で申し込んでください。

#### 入学試験

推薦入学試験の願書受付期間は九月二六日〜十月九日、試験日は十月一六日です。

前期の一般入学試験の願書受付期間は一二月五日〜二月一九日、試験日は翌二七年一月七日です。

後期の一般入学試験の願書受付期間は二七年二月一三日〜二月二〇日、試験日は二月二六日です。

詳細は本校教務課まで。

### 農業大学校教職員名簿

**校長** 西山芳邦  
**副校長** 久松吾都子  
**総務研修課長** 蓮井誠太郎  
**(庶務・経理担当)**  
**主任** 宮武ふみ代  
**主任** 松林好則  
**主任** 松岡朋子  
**主任** 高橋利治

#### (研修担当)

教授 瀧川裕史  
 准教授 岩井由加理  
 教授 中條秀俊  
 教授 清水康司  
**教務課長(兼)** 久松吾都子  
**(学務・農場担当)**  
 教授 松本英治  
 准教授 三野真弓  
 主席技師 野村和親  
 農場管理 末澤賢二  
 高畑 宏  
 和泉弘美

#### (野菜園芸コース)

教授 藤村耕一  
 教授 野田啓良  
 教育助手 白井有希

#### (花き園芸コース)

准教授 大原一能  
 教授 上原廣大  
 教育助手 田中希咲

#### (果樹園芸コース)

教授 十鳥幹雄  
 教授 各務好行  
 教育助手 高尾遼平

#### (造園緑化コース)

教授 大西孝志  
 教授 矢野 清  
 教育助手 神高友樹

#### (畜産コース)

教授 真鍋圭哲